



指導主事研修 ～学校園とともに学び、学校園支援の質を高めるために～

2月2日（月）、柏田中学校にて「指導主事研修」を実施しました。この研修は、本市の指導主事が実際の授業を通して学び合い、学校園支援の質をさらに高めるための資質向上を目的として実施しているものです。

今回、指導主事の学びの場を提供いただいたのは、柏田中学校1年生の外国語科（英語）の授業です。生徒がなかまのやりとりを通して、自分の考えや思いを英語で表現しようとする姿や、授業者が生徒一人ひとりの反応を丁寧に受け止めながら授業を進めていく姿は、参加した指導主事にとって多くの学びにつながるものでした。

～学び続ける指導主事の姿～

授業後には、参加した指導主事（八尾市教育委員会も含め、15人程参加）が、生徒の学びの姿や授業者の手立て、言語活動の工夫などについて、対話する相手を変えながら交流を行いました。さまざまな考えに触れる中で、それぞれが授業を見る視点を広げるとともに、学校園支援の在り方を改めて見つめ直す機会となりました。

今回の研修を通して、指導主事自身が学び続ける存在であること、そして学校園に伴走するためには、授業実践に学び、対話を通して支援の視点を磨き続けることが大切であることを改めて実感しました。今後も、各学校園の実態や願いに寄り添いながら、よりよい支援に努めてまいります。



お別れセレモニー ～希望と感謝を胸に新たなみらいへ～

教育支援センター（ふれあいルーム）

ふれあいルームでは2月27日（金）に、中学3年生の門出を祝う「お別れセレモニー」を行いました。当日は、教職員や保護者の皆様、そしてともに過ごしてきたルームの後輩たちが集まり、会場は、温かくも凛とした空気に包まれました。

ルームのスタッフや後輩からのお祝いメッセージの後、卒業生一人ひとりから「お別れの言葉」が語られました。「なりたい自分を探さず、これからめざす自分の姿を見つけることができた。」「いろいろな人と卓球やバレーボールをして楽しかった。」「勉強をがんばって、気づいたらルームから家に帰っても勉強に向かえる自分になっていた。」自分の言葉で綴られた言葉には、ふれあいルームで過ごした時間の中で見つけた「自分らしさ」への自信と、周囲への深い感謝が溢れていました。後輩たちも心を込めてお祝い会場を準備し、先輩たちに大きな拍手を送っていました。

これまで蓄えてきたエネルギーや、ふれあいルームで育んだ自信は、きっとこれからの人生の確かな土台となるはず。卒業生の子どもの歩む新たなみらいが、これからも素敵なものであることを、教育センターとして心より願っています。



今年度は楠根小学校・上小阪小学校・上小阪中学校の3校を研究協力校として、総合的な学習の時間を軸に、探究的で教科横断的な視点を取り入れた学びに取り組みました。



取組の紹介

STEAM 探究教育の実践

実社会、実生活の問題に対し、子どもたちが「なぜ〇〇なんだろう」と自ら問いを立て、各教科での学習（知識・理解）をもとにして、**試行錯誤**を繰り返しながら、「どうすれば実現できるのか」**創造力を働かせながら解決する力**を育てていく。
何より子どもたちの好奇心を大事にし、「わくわく」「ドキドキ」する学びにする。

<楠根小学校5年生> テーマ 「カラフルな世界をともに ～知る、つながる、広げる～」

これまでの探究学習のまとめ・表現の場として文化創造館で実施されたカラフルコミュニケーションパークに参加した子どもたちは「どう伝わるか」「何をもち帰ってほしいか」を意識し、展示や体験、クイズなどを工夫して発信する姿が見られました。その中で、友だちと支え合いながら堂々と伝える姿は、参加したおとなや子どもたちの心を動かし、成長を感じさせる場面が多く見られました。今回の学びを次につなげるべく、今後は各国の「よさ」に加え、その国が抱える課題や世界の現状にも視野を広げ、6年生の平和学習へとつながる問いを深めていきます。カラフルコミュニケーションパークで得た「伝える力」と「つながる力」を基盤に、子どもたちの探究はこれからも続いていきます。



相手に伝えるための工夫



トライくんもモルックに参加

<上小阪小学校4年生> テーマ 「みんなでつくるみらいのまち～4you～」

社会科で学んだ「上小阪配水場」をきっかけに、配水場見学では、施設見学や給水車体験、働いている方からの話を通して、「水はどこから来て、どう運ばれていくのか」「防災と水はどうつながるのか」等の問いをもつ経験をしました。体験から問いをもつ経験をさらに積み重ねるため、校区探検を実施し、公園や通学路のごみ、近大通りの店舗の工夫、薬用植物園等の気づきなどを持ち寄りました。班ごとに気づきから問いを考え、課題設定へとつなげ、ポイ捨てを減らすための啓発（掲示物づくり・配布物の工夫・協力依頼など）や、大学生へのアンケート等、実行可能な方法で情報を集め直し、取組前後の様子を観察・比較しながら改善を進めました。授業参観では、保護者等に向けて、探究のサイクルを通じて取り組んだ内容を発表したり、活動を表したイラスト入りのものを配布したりする等、自分たちの学びを発信しました。



給水車体験



アンケート調査



掲示物の協力依頼



授業参観での発表

<上小阪中学校1年生> テーマ 「一人ひとりの“ちがい”が力になる～STEAMで築く共生社会～」

1学期、生徒たちは多様な立場の人々と出会い、身近な生活での困りごとに気づき、「誰にとっても過ごしやすい社会にするにはどうすればよいか」をテーマに探究を進めました。視覚障がいや発達特性のある人が感じる困難を少しでも軽減する方法について、試行錯誤を重ねながら考え、3Dモデリングツール等を用いてかたちにする等、その成果を保護者や校区の6年生に向けて発表しました。こうした体験を通して、生徒たちは多様性について理解を深めるとともに、よりよい未来や社会の実現に向けた思いを高めました。さらに、12月には車いすバスケットボール体験を通して、障がいのある人との関わり方や、自分たちの中にある無意識の差別に気づくことができました。



ルール説明



バスケット体験

令和8年度からは「探究的な学びのグランドデザイン」をテーマに

調査・研究を進めてまいります。

